

第9回

肉の博覧会 in おおだて

1・2日
秋田犬の里



昨年は2日間で2万6000人超が来場

「やぎにく村」や大抽選会

大館市の肉食文化を発信する第9回「肉の博覧会 in おおだて」(肉×博、大館食の祭典協議会主催)が6月1、2の両日、同市御成町の観光交流施設・秋田犬の里で開かれる。地元のブランド肉をその場で焼いて味わう「やぎにく村」やステージイベント、大抽選会など多彩な催しを企画。飲食店を中心に50を超える店舗が出店し、県内外の肉料理を一度に楽しむことができる。

市の肉食文化の継承と地域資源の発信、交流人口増加による地域経済活性化をコンセプトとしたイベント。
「やぎにく村」では、秋田牛、大館きくら豚、比内地鶏の焼き肉セット(税込み5000円)を提供。あきたこまちの釜炊きご飯も販売し、地元食材を存分に味わうことができる。
秋田牛のヒレとサーロインのスペシャルセット(税込み1万円)も販売する。市内の精肉店が、肉のスペシャリストを務め、両日も午前11時から午後2時まで、肉を焼いて提供する。
会場の多目的広場には、キッチンカー14店舗のほか、肉を中心とした飲食店など合わせて50を超える店舗が出店。JAあきた北の比内地鶏千羽焼き、市の友好都市・茨城県常陸大宮市、ハチ公生誕100年の「HACHI100」な6333)。

家族連れで楽しんでオナリ座でもイベントも
家族連れ向けに新たに取入れた企画が、会場近くの映画館・オナリ座で行う無料上映



大館曲げわっぱ太鼓のステージ



「肉の博覧会」のポスター

映画。両日も正午から、すくことができ、秋田職業能力「映画すみっこぐらし」とび開発短大の学生がゲーム大会だす絵本とひみつのコ」を上などを予定。実行委は「子ども連れでも安心して「肉×博」に来場してほしい」と話している。